「特別の教育課程」編成・実施計画（報告）〔学校設置者に提出〕

記入例

※　参考様式例として示したものであり、現在、各校や市町村教育委員会で使用されている様式を継続して使われてもかまいません。

＜記入例＞　【富山県教育委員会「外国人児童生徒教育の手引No.27」P６より】

（学校設置者に提出する指導計画・報告　記入例）

令和○年度　特別の教育課程編成・実施計画（参考様式）

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | ○○市立○○小学校 |
| 学校長 | ○○　○○ |
| 提出日 | 令和○年○月○日 |

指導内容：①サバイバル日本語、②日本語基礎、③技能別日本語、④内容（教科等）と日本語の統合学習、⑤教科の補習

指導の内容を「初期の前期」「初期の後期」「中期」「後期」の四つの段階で大きく分けるなどが考えられます。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 学年 | 児童生徒氏名 | 指導内容 | 指導時間 | 指導形態 | 指導者 |
| 学習段階 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | その他 | 指導期間 |
| １ | 小１ | ○○　○○　○○ | 初期の前期 | ○ | ○ |  |  |  |  | 週４時間 | グループ指導　 | ○○○○ |
| R○.4 |
| ２ | 小２ | ○○○　○○ | 初期の後期 |  | ○ |  | ○ |  |  | 週6時間 | 週２　グループ指導　週２　個別指導週２　入り込み指導 | ○○○○ |
| R○.4 |
| ３ | 小２ | ○○　○○　○○ | 中期 |  |  |  | ○ |  | ○ | 週２時間 | 入り込み指導 | ○○○○ |
| R○.4～R○.12 |
| ４ | 年度途中で「特別の教育課程」による指導を終了した場合は、指導期間を記入しておきます。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |
| ５ | 小４ | ○○　○○ | 初期の前期 | ○ | ○ | ○ |  |  |  | 週６時間 | ○○小学校へ通級(週４ グループ学習　週２　個別指導） | ○○○○(○○小教諭) |
| R○.10～ |
| ６ | 編入等、年度途中で「特別の教育課程」による指導を開始した場合は、順次追記しておきます。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |
| ７ | 小６ | ○○○　○○　○○ | 後期 |  |  |  | ○ | ○ |  | 週6時間 | 週２　グループ指導　週２　個別指導週２　入り込み指導　 | ○○○○(巡回指導) |
| R○.1～ |
| ８ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |

「入り込み」指導を行っている場合は、指導形態に記入しておきます。

①～⑤は「外国人児童生徒教育の手引No.27」P９を参考にすることができます。大まかな内容でよいです。複数の例を登録しておき、選択できるようにすることも考えられます。

本計画書を教育委員会に提出した後も、「特別の教育課程」による指導の終了時や、転編入児童生徒に対して新しく「特別の教育課程」による指導を始めるとき、又は学習評価等を踏まえて指導計画を変更した際等、各学校において適宜追加・修正を行い、年度の終わりに報告一覧を作成して教育委員会に提出することになっています。